



『北海道絶滅動物館』刊行

北海道で見つかった化石から復元された古生物をまとめた本が、北海道新聞社から刊行されました。著者は、当館の館長や学芸員をふくむ10名の化石研究者。

この本の最大の特徴は、ページを飾る「古生物画」です。画家浩而魅諭（ひろじみゆ）さんの細密画。ボールペンで詳細なベースを描き、そこに色鉛筆や水彩絵の具で彩色します。最近はやりのCGとはひと味ちがう暖かさがあります。

足寄からは、館が所蔵する模式標本（タイプ標本）の数々が登場します。

むかわ竜からナウマンゾウまで、北海道の古脊椎動物が勢ぞろいする初めての本です。お手元に置いて「古生物画」をながめてみませんか。

町内各学校や図書館にもありますよ。



足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる
指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

No. 165
2024年 4月24日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101 (年4回発行)
staff@museum.ashoro.hokkaido.jp http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

あしよろ化石教室

地層や化石に触れ、北海道の大地の移り変わりを直に感じましょう。



足寄町螺湾での化石採集の様子



白糠町右股の地層の化石



阿寒町での発掘のようす

第一回・三回：足寄町モラワンでは博物館の化石が発見されている2500万年前の地層を観察し、螺湾らわんでは、古十勝湾の地層にある300万年前の貝化石を探します。

第二回：白糠町右股の地層で、3000万年前の貝化石を探します。石ころのようなノジュールに包まれている化石が多いですが、巻き貝や二枚貝の化石が見つかります。

第四回：釧路市阿寒町の地層で、500万年前の貝化石を探します。地層はかためですが、大きなタカハシホタテは迫力満点です。

第一回 足寄町螺湾・モラワン

日時：6月2日（日）12：30集合 15：00ごろまで

人数：20名程度

※年齢制限はありませんが、大人ひざ丈程度の川を渡ります。

第二回 白糠町右股

日時：6月9日（日）12：30集合 15：00ごろまで

人数：30名程度

※年齢制限はありませんが、大人ひざ丈程度の川を渡ります。

第三回 足寄町螺湾・モラワン

日時：6月16日（日）12：30集合 15：00ごろまで

人数：20名程度

※年齢制限はありませんが、大人ひざ丈程度の川を渡ります。

第四回 釧路市阿寒町

日時：6月30日（日）12：30集合 15：00ごろまで

人数：30名程度

※年齢制限はありません。

申込み：5月15日（水）来館または電話での仮予約開始

※仮予約後に詳しい参加案内と申込用紙を渡します。また、各回とも天候や河川の増水状況、および社会状況によって中止とする場合があります。

ミニ発掘が変わります

新型コロナの感染対策として、個数と種類の制限をしていたミニ発掘ですが、今年度から館内で自由に掘ることができるようになりました。いままでお持ち帰り専用だった『ミニミニ』『プレミアム』も館内で楽しめます！それにもない、『ミニ発掘 クリスタル』の「かぶらない5個セット」は提供を停止いたします。また、『石はみがくと玉になる』も館内でみがいていくことができるようになりました。レプリカづくりや古生物模型づくりももちろんつくることができます。さまざまな化石体験をお楽しみください。

アクアマリン



鉱物名：Beryl 緑柱石
化学組成：Be₃Al₂Si₆O₁₈
(珪酸塩鉱物)
産地：ブラジル

『ミニ発掘 ミニミニ』ではつぶつぶの鉱物をたくさんほりだします。ビンにいれるのがおすすめです！

『ミニ発掘 プレミアム』のメニュー(の一部)

館内でほるもよし、おうちでほるのもよし、おみやげにするのもよし。ちょっとレアな化石や鉱物を楽しんでください。なんと今年はダイヤが登場！？

北海道のアンモナイトセット

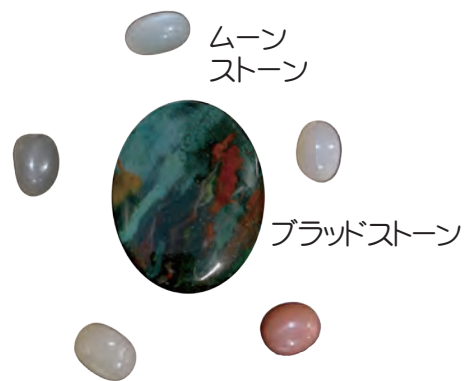
(3個入り)

¥1500



かがやくタンブルセット

(ブラッドストーンとミニムーンストーンのセット)



蛍光鉱物セット ¥1000

(ブラックライトで蛍光する鉱物のセット)



ホタル石

水晶(蛍光)

ルビー
コーダイエライト

三葉虫 ¥1000

(母岩付き風)



地質の日（5月10日）協賛イベント

日高山脈国立公園化記念

十勝平野・日高山脈の石をみがいて文鎮づくり

十勝平野の石：①十勝石（黒曜石）、②勝黒石（粘板岩・泥岩；新名称）、
勝グレ石（砂岩；新名称）、常呂帯の泥岩（堆積岩・緑色）

日高山脈の石：③片麻岩・片岩（変成岩）、④かんらん岩（深成岩）

世界各地の石：⑤ラピスラズリ、⑥縞状鉄鉱石、・・・

をみがいて文鎮（ペーパーウェイト）をつくります

5月11日（土）・12日（日） 10時から15時まで（延長可）

実施場所：足寄動物化石博物館化石工房

参加条件：「自分はおとなだ」と思っている人・言える人＝

何時間でも単調な作業ができる人

【家族で交代もあり、とします】

参加料金：1000円（「世界各地の石」は追加料金をいただきます）

募集人数：各回 6人

参加申込：電話で；0156-25-9100

文鎮の材料

①②：十勝平野の石

③④：日高山脈の石

⑤⑥：世界の石



GWの開館

足寄動物化石博物館は **4月27日～5月6日開館します**

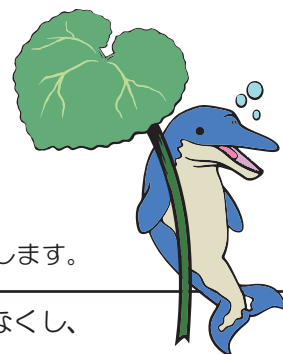
足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月28日から）・年始（1月4日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。

※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



館内での化石体験をもっと多彩に！ということではまずミニ発掘の制限をなくし、石みがきも館内で楽しめます。以前からの要望にやっとお応えできます。今後もメニューは変わっていくので、お楽しみに！